



第116号

# 牛久市議会だより

令和5年第3回臨時会  
(8月23日)

第3回定例会号  
(10月10日～10月30日)

牛久で見つけた生き物たち

写真 牛久ネイチャーフォトクラブ



ダイサギ (飛翔)



カワセミ



ウグイス

## 特集

令和4年度決算審査  
こんなことに使われました！

2ページ～5ページ

おしえて！議会定例会って？

19ページ

## 牛久ネイチャーフォトクラブ

代表 板倉信夫さん

牛久自然観察の森に集う写真家のマナー育成のために発足、その後「自然を愛し自然を大切に」を標語として、野鳥の写真を中心に撮ってきました。

昨今は牛久自然観察の森以外にも活動を広げ、写真活動を楽しんでおります。一緒に活動する仲間を募集しています。奮ってご参加ください。



# ひたち野リフレラザ

ひたち野リフレビル 2階・3階

特集

令和4年度

決算審査

(決算特別委員会での質疑の内容は4ページ)



12月1日申請分から  
パスポートやマイナ  
ンバーカードの受け取りが  
行えるようになります。

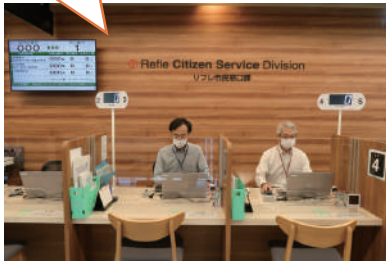
新たにひたち野地区に市役所機能を整備

「リフレを維持管理する」 支出済額 90,855,932円

2階には、市民窓口課の他、ワークスペースや自習スペースに利用できるよう、机や椅子が設置されている。また、ソファ席や図書があり窓口の手続きの待ち合い時に利用できる。3階（スカイスペース）には、有料（時間帯枠貸出制）の個別ブースがあり、リモートワークや学習に利用できる。

2階の市民窓口は、平日及び土日（祝日・年末年始他を除く）に開庁しており、各種証明書の発行や住民票の異動の手続きの他、各種届出の受付業務などを行っている。（土日に取り扱いのない手続きもあります。詳細は牛久市ホームページをご覧ください。）

←市民窓口の様子。窓口は仕切られており、落ち着いて手続きを行えます。



## 子ども家庭総合支援拠点

保健センター1階



子育て世代が安心して相談できる環境の整備

「子ども家庭総合支援拠点を設置する」 支出済額 7,515,804円

妊娠中の方から18歳までのお子さんのいる家庭が安心して過ごせるよう、子育てに関する相談全般を受け、関係機関と連携し切れ目のないサポートを行う。相談は個室で行う。キッズエリアで子どもを遊ばせながら気軽に子育て相談等を行うこともでき、家庭相談員や保健師が相談に応じている。



相談室は個室になっており、プライバシーに配慮されている。2つ設置されている。

決算特別委員会にて視察。市執行部より、施設や利用状況などの説明を受けた。→



# 特集 令和4年度 決算審査

議員がチェック

歳入決算332億6,321万円

歳出312億8,927万円

実質収支額は17億6,521万円

決算の審議は、議員10人で構成する決算特別委員会を設置して10月18日、19日、20日の3日間行われた。

令和4年度の一般会計決算は、令和3年度に実施した子育て世帯や住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金をはじめとする新型コロナウイルス感染症対策関連事業の減少により歳入が減額となった一方、歳出はふるさと寄附事業の拡大や住宅用LED照明等買替費用助成事業の実施などにより増額となった。

## 決算特別委員会委員

委員長 藤田 尚美  
副委員長 遠藤 憲子  
委員 石原 幸雄  
柳井 哲也  
杉森 弘之  
甲斐 徳之助  
磯山 和男  
伊藤 知子  
出澤 大  
水梨 伸晃

## 各会計別決算状況 (単位:百万円)

	歳入	歳出
一般会計	33,263	31,289
国民健康保険	7,497	7,496
介護保険	5,986	5,855
後期高齢	2,192	2,193
青果市場	16	16
合計	48,954	46,849

※百万円未満を端数調整しています。

※下水道会計は除く

## 気になる借金と貯金は?

借金 (市債残高) 全会計 → 316 億 6,800 万円

貯金 (基金残高) → 82 億4,800万円



## 監査の報告

ポストコロナの新しい社会環境の中で、これまでも直面している社会保障費の増加や公共施設の老朽化、自然災害の激甚化などに対する課題に加え、デジタル技術を活用した業務の効率化や行政サービスの向上は喫緊の課題となった。

複雑、多様化する行政課題に立ち向かうため、庁内横断的な協力体制を強化するとともに、限られた経営資源で最大の効果を発揮できるよう全庁を挙げた積極的な取り組みを望む。

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業

### 感染拡大防止 約1億5,400万円

- ・避難所に感染対策用の備蓄とIP無線機導入
- ・市役所庁外でのテレワーク環境整備
- ・学校、幼稚園、保育園等への感染対策用の備品

### 原油価格・物価高騰対応 約1億8,500万円

- ①事業者への支援
  - ・市内事業者への支援一時金
  - ・ハートフルクーポン券事業のプレミアム分 (10%) 助成
  - ・市内公共交通事業者の燃料費等
- ②市民への支援
  - ・小中学校、幼稚園、保育園の給食食材の高騰分

### 電力・ガス・食料品等価格高騰支援 約1億6,900万円

- ・エネルギー費用を軽減するためのLED照明等購入費
- ・障害福祉・介護施設、医療機関、認定農業者、運送事業者のエネルギー価格高騰支援

感染拡大防止に加え、令和4年度はコロナ禍における原油価格・物価高騰対応分、電力・ガス・食料品等価格高騰支援分を合わせて総額約5億870万円を活用して事業を行いました。



# こんなことに使われました！

## ひたちのリフレプラザ

**問** ひたちのリフレプラザ市民窓口の利用状況は。

**答** 令和5年2月1日の開設から9月末までの8か月間において、利用者数は延べ8382人で1日平均36・6人であった。また、3階の有料スペース「スカイスペース」は延べ3040人で1日平均13・6人、利用率は利用可能枠数の32・8%であった。2階のフリースペースは開庁日の17時時点での利用者数の集計で1日平均10・9人であった。当スペースは学生の自習スペースとしての利用が多い。

## 牛久シャトーを利活用する



牛久シャトーワイン文化復活事業補助金で購入したワインタンク。増設したことで製造量が増え、販売の増額につながった。

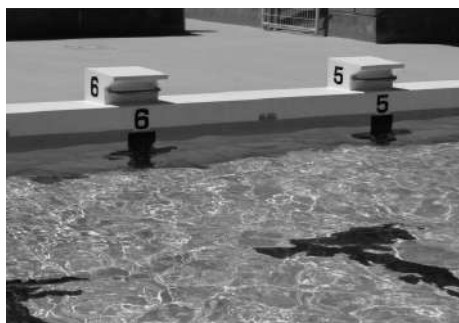
## 1億2067万円

**問** 牛久シャトー利活用のための補助金の用途と効果は。

**答** 2つの補助金のうち、経営安定化補助金5000万円は、ぶどう栽培及びワイン醸造に要する経費、牛久シャトー管理費の一部、醸造施設の修繕に充当。寄附を財源とした牛久シャトーワイン文化復活事業補助金200万円は、ワイン醸造用タンクの増設に充当。

## 小中学校プールの維持改修と今後

**問** 学校プール施設の維持や集約化については。



現在、岡田小と各中学校・おくの義務教育学校は、ひたち野うしく小学校でプール学習を実施。学校施設の老朽化対策を効率的に実施する手段として、集約化や共同利用なども検討していく。(写真イメージ)

**答** 岡田小とおくの義務教育学校以外

は塗装工事を行った。集約化については、短期間のみ使用するプールの維持補修費を継続して確保するのは難しいと認識している。今後、集約化を行うことを課内では検討しているが、どの学校を拠点にするかなどについては、塗装工事により今後4・5年はプールの使用が可能であり、その間に方向性を決定していく。

## おくの義務教育学校一体型校舎の建設



一体型建設事業が令和7年4月の開校を目指し進められている。令和4年度は実施設計が行われた。今の校舎の長寿命化とともに敷地の有効活用を図り、1年生から9年生までの義務教育学校の教育効果に配慮した整備を行っていく。(完成イメージ)

## おくの義務教育学校一体型校舎を建設する

### 6468万円

**問** 市民向け事前説明会での質問や要望の内容は。

**答** 令和4年6月の説明会には、保護者と地域住民あわせて23名の出席があり、工事中の騒音対策やあそびの広場の芝生化、体育館の音響設備の改善などの意見があった。騒音対策については仮囲いにより音を軽減すること、広場の芝生化と音響設備の改善は実施していく。

## 子ども家庭総合支援拠点

**問** 周知方法と相談室の利用状況は。

**答** ホームページについては公開に向けて現在作業中である。本年6月1日の支援拠点の設置に合わせ、同日発行の広報うしくにより周知を行ったほか、かっぱメールにおいても、こども家庭課が移転することと支援拠点を設置することを周知している。利用状況は、6月から8月までにおいて、訪問や電話による相談も含め延べ相談件数が1254件である。

## こども発達支援センターのぞみ園

### のぞみ園とは、

0歳から就学前の乳幼児期の子どもの発達や子育てをサポートしている。個別指導や小集団支援の他、訪問支援や家族向けの勉強会、季節の行事などを実施。

### 指定管理者により療育指導する

652万2千円

**問** 市のぞみ園に求めている役割と運営状況について。

**答** 就学前の障害がある児童の早期療養や訓練を重点的に行っており、検診を通じて発育に何らかの障害がありそうな児童を市の保健センターからのぞみ園につなぎ、そこで療育の訓練を行い、早期療育に努めている。

運営状況については、令和4年度までは部屋も足りないほど利用者も多い状況であったが、民間の児童発達支援事業所が市内にも多く設置されてきたことより、適正な運営がなされていると認識している。

## シルバー人材センター

### シルバー人材センターとは

これまでの経験や知識を生かし、臨時的、短期的な就業の提供を行う組織。会員は随時募集。(牛久市ホームページより)

### シルバー人材センターの育成に対し

助成する

1310万円

**問** 補助金の使途は？また、どの程度の仕事があるのか。

**答** 必要な経費に対して、手数料や事務費では賄いきれない部分に充てられている。平成23年度から毎年度同額の補助金額としているが、法人の努力により補助金額を増額していない。受注件数が3年度の1126件に対して4年度は951件と減少している一方で、就業延べ人数が3年度は24574人に対して4年度は25322人と増加している状況である。

## ひたち野地区宅地開発事業

### 進捗状況は。

**答** 東端穴地区において、今年度中には市街化区域編入の予定となっている。それを受けて、組合の設立

認可と土地区画整理事業の事業認可を来年度取得し、令和7年度から工事を着手する予定でいる。



ひたち野うしく中学校の北側に計画されている宅地開発事業。地権者組織である準備組合と大和ハウス工業(株)茨城支店が基本協定を締結し、今後、国や県との協議を進めていく。

## 市営住宅の計画

### 市営住宅の建物を維持管理する

4138万円

**問** 今後の市営住宅のあり方は。

**答** 牛久市の市営住宅再構築基本構想と市営住宅長寿命化計画を作成し、維持管理、再構築の計画を進めている。昨年、神谷住宅6号棟の屋根外壁工事、神谷住宅と南裏住宅の1号棟から5号棟の給水ポンプの改修工事、空き室の工事等を行う、住宅の再構築は、四つの



平成30年度の牛久市市営住宅再構築基本構想でのイメージ図。現在は入居者より退去者のほうが多く、入居者も高齢となっている。今後は単身者や高齢者が入居しやすい部屋への変更なども視野にいれ、来年度以降基本構想の見直しを検討していく。

木造住宅地を猪子住宅に集約再編する取り組みを行っている。

## 令和4年度牛久市下水道事業会計

**問** 今年度の業務改善、設備の老朽化対策は。

**答** 平成21年から下水道使用料の徴収事務を県南水道企業団の上水道徴収事務と一元化しており、事務経費の削減を図っている。老朽化対策については、これまで区域ごと、ポンプ場ごとに実施していたが、市内全域の下水道管路、ポンプ場を市の公共施設、公共下水道施設ととらえて、予防、保全的に修繕の計画を立てて実施している。



市内に44カ所ある汚水マンホールポンプのなかの大流北ポンプ室。マンホール内にポンプが2台あり生活排水を圧送している。今年度は劣化したバルブ等の交換が行われた。

市政を問う！

一般質問

一般質問とは、牛久市行政全般にわたり、市長（執行機関）に対し、議員がそれぞれの視点で質問し、執行の状況や将来に対する方針等について報告や説明を求めるものです。令和5年第3回定例会では、19名の議員が一般質問を行いました。

池辺 己実夫	業務を担う財団法人の必要性は
鈴木 勝利	耕作放棄地増加に対する対策は
山本 伸子	学校給食費無償化の財源の確保は
塚原 正彦	図書館起点のデジタル田園都市を
柳井 哲也	人口増加策としてのまちづくりは
加藤 政之	災害を想定した本市の備蓄状況は
杉森 弘之	小中学校給食の無償化
黒木 のぶ子	牛久シャトーの課題解決策は
伊藤 知子	带状疱疹予防ワクチン助成の考え
藤田 尚美	子どもの医療費無償化の考え

水梨 伸晃	大規模公園を整備してはどうか
伊藤 裕一	市長マニフェストを作成しては
大森 和夫	環境・子育て支援策・市の発展は
遠藤 憲子	加齢性難聴者に補聴器購入の助成を
小松崎 伸	決算の検証と今後の財政運営は
須藤 京子	テナント誘致に優遇措置の創設を
高嶋 基樹	被災農業者への窓口対応はどうか
磯山 和男	増える自然災害への防災姿勢は
出澤 大	財政調整基金が見込みより増加した理由は

業務を担う財団法人の必要性は



池辺 己実夫 議員



答弁) DX 推進、職員能力の活用で業務量を削減する

**質問** 施設管理運営事業の担い手としての公益財団法人の必要性は。

**答弁** (市長) 総合計画においては、民間に任せられるものを洗い出し、適切な方法で民間委託を実施していくとしているため、民間委託、指定管理者制度の活用、公設民営方式の導入などを検討しながら市政運営を進めてきたが、市の職員が不足することにより、市民に対するサービスの提供が低下することは避けたい。

今後DXの推進や、民間委託の検討をすることで業務量のスリム化を目指し、職員の適材適所の配置により、職員が持つ能力を最大限に活用しながら市民サービスの提供に努めていく。

**質問** 公益財団法人の設立の考えはあるか。

**答弁** (経営企画部長) 業務の効率化を喫緊の課題と認識し、公益財団の活用等を含め、行政サービスの効果的・効率的な提供方法を調査研究していく。

牛久市の職員数

**質問** 定員管理上の職員数と総務省の定員モデルは。

**答弁** (総務部次長) 総務省の第10次定員モデルによると職員数は357人であり、令和5年度における当市の職員数は353人なので総務省の定員モデルとほぼ同数と認識している。

**質問** 市が職員の年齢構成の偏りの是正を最優先課題とする理由は。

**答弁** 長期的に安定した組織運営のためには、年齢構成を平準化し、定年による大量退職の弊害を回避する必要があると考えている。



# 耕作放棄地増加に対する対策は

鈴木 勝利 議員



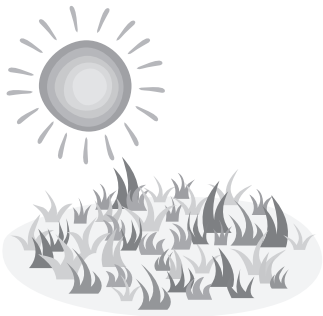
答弁) 農地の集積・集約化、新規参入促進を実施

質問 耕作放棄地増加に対する対策は。

答弁 (農業委員会事務局長) 農地利用の集積・集約化、遊休農地等の発生防止・解消、新規参入の促進を実施している。

質問 今後の取り組みは。

答弁 (市長) 再生可能である耕作放棄地は、農地中間管理機構への貸付や担い手への権利移転を誘導するよう推進していく。一方で、再生利用が困難である農地は、非農地判断を行い、農地以外の用途での利用が図られるよう進めていきたい。



その子に合わせた

不登校支援を

質問 児童生徒・保護者が感じる「相談のしづらさ」等の改善方法は。

答弁 (教育委員会次長) 自分の思いを表現しやすい相手を選ん で相談できるように、現在、パンフレット作成を行っている。市の相談窓口、県やSNSでの相談窓口、不登校の保護者の会、フリースクールやフリースペース等の民間施設、夜間中学について紹介する予定である。

質問 仮想空間「メタバース」を活用した不登校支援に対する考えは。

答弁 子どもがアバターとなってメタバース上の学校に登校し、自分のペースで学習したり、アバターの教師や仲間と交流したりする経験は、家から出ることが難しい子どもにとってはメリットになる。現段階ではハード面の課題もあるため、学校によるAールドール等を活用した支援、専門家や関係機関との連携、多様な学びの場の周知等を進めていく。

# 学校給食費無償化の財源の確保は

山本 伸子 議員



答弁) 来年度予算編成の中で財源を見極めていく

質問 学校給食の運営には各校で調理をする自校方式と給食センターで一括で調理し配送するセンター方式があるが、牛久市が自校方式を採用した理由は。

答弁 (教育部長) 各校で調理し提供することは、児童生徒の食育につながる。また各校に栄養教諭や栄養士を配置することで食物アレルギーにもきめ細かく対応し、災害時には調理場としての活用も可能である。



出来立ての給食が何よりのごちそう

質問 自校方式は食育の観点から優れている一方でコストがかかる。年間5億円の運営費がかかっているが、更に無償化となると食料費の約4億円の安定的な財源の目途はあるのか。

答弁 (市長) 予算編成で歳入面の経常的な収入の動向を見

極め、歳出面では事業の見直しを図り、事業を取捨選択し財源を確保する。

介護保険の福祉用具購入と住宅改修制度の改善を

質問 福祉用具購入や住宅改修の費用は利用者が自己負担額のみを支払う受領委任払いと、一旦全額を支払いあとで給付分を市から受け取る償還払いがある。利用者の負担を軽減する受領委任払いはよい制度だが牛久市は市内事業者に限られている。しかし市外や県外まで広く事業者を選べるようになってきている自治体もある。当事者の視点にたつてより多くのなかから選べるよう改善すべきでは。

答弁 (保健福祉部次長) 市内に限られている理由は明確なものではなく、地場産業の育成と認識する。介護保険では償還払いが原則であるが、自治体により様々であるため検討していく。

市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

## 図書館起点のデジタル田園都市を



塚原 正彦 議員

答弁) 新しい視点で地域社会のデジタル化の促進を

**質問** 政府が推進するデジタル田園都市は、地域の個性をいかした新しい富の創出をめざしている。

自然と文化資源に恵まれ、生活情報が集積する本市は、その理想モデルを展開できる可能性がある。

デジタルとリンクした図書館は、時空を超えてつながる魔法の舞台に進化し、まちづくりの中核施設としての役割を果たしている。

ニューヨークでは、図書館で住民票の登録が行われ、起業や芸術支援等のプログラムが展開されている。ソウル市は、歴史的建造物の市庁舎を図書館に改装し、新しい市役所の可能性を提示した。

デジタル図書館の成功例を参考に、図書館を起点にした独自のデジタル田園都市の展開を提案するが市の見解は。

**答弁 (市長)** 本市は、令和4

年4月に「デジタル推進課」を立ちあげ、「牛久市デジタル推進課ガイドライン」を作成し、本年6月にデジタル推進本部を設置、庁内業務のデジタル化の検討に着手した。

地域社会のデジタル化の促進については取り組めていないのが現状で、今後デジタル推進課事業本部等において検討をしていきたい。



市のシンボルになっているソウル市図書館

## 人口増加策としてのまちづくりは



柳井 哲也 議員

答弁) エスカードの解決と東端穴地区の宅地化から

**質問** 本市は県南地区で基準地価の上昇している珍しい地域である。そんな魅力あるまちにもかかわらず人口は減少している。抜本的で効果的な対策は。

**答弁 (建設部次長)** 牛久駅周辺では今年度公衆トイレを設置すると共にエスカード牛久ビルの空き床解消のため公共的利活用等を図っていく。

**質問** ひたち野うしく駅周辺は東西とも基準地価が昨年比坪9900円上昇している。東端穴地区宅地化の進行状況は。

**答弁 (市長)** 宅地需要に対応するためひたち野うしく中学校の北側隣接地約10・6ヘク

タールの区域において組合施行による土地区画整理事業を計画しており、来年度には事業認可を取得したい。

### 牛久市国際交流協会の活動は

**質問** 活動内容は。

**答弁 (市民部次長)** 国際交流では視野の広い国際感覚と郷土愛に満ちた人間性を育む目的で、次代を担う青少年に姉妹都市でのホームステイの機会を提供することをコロナ禍前まで隔年でやって来た。カナダのホワイトホース市への派遣事業に参加した中高生は、慣れない英語でホストファミリーとコミュニケーションを取り、異文化を肌で感じ貴重な体験をすることができた。

国内交流では、常陸太田市、宮城県色麻町とも沢山の自然が残されており、本市とは趣を異にしている。ホームステイなども要望があれば検討していきたい。



していきたい。



# 災害を想定した本市の備蓄状況は

加藤 政之 議員



答弁) 災害に対応できる十分な備蓄を行っている

質問) 近年、全国各地で様々な災害が発生しているが、災害が少ない本市でも、災害とは無関係でない状況の中、本市の避難所における食料、水、その他の備蓄はどうなっているか。

答弁 (市民部長) アルファ米を始めとし、麺類、ベビーフード等備蓄している。食料以外では、段ボールベッド、毛布、消毒液等の感染症対策用品、テントやパーティションなど多種多様なものを備蓄している。

質問) 災害時の備蓄量は、全市民の何割が避難するという想定で組まれているか。

答弁 (市長) 「牛久の日」や牛久シャトーでのイベントなど、様々な所でPR活動を実施してきた。今後は、市長自身が広告塔となりトップセールスを行うことで、本市の魅力を発信していく。

答弁) 茨城県公表の、「茨城県地震被害想定調査報告書」では、牛久市の避難者数は、被災当日で約5500人、約6.5%が避難する想定をしている。

質問) 約5500人、約6.5%が避難して、何日分の備蓄量になるか。

答弁) 約2.5日分。ご家庭でお願いしている備蓄の最低3日分を合わせると約5.5日分。過去の災害事例を踏まえても現在の備蓄量で充分だと考えている。

## 新市長の基本政策 6つの柱の移住政策

質問) 市内外への本市のアピールを今後どのように行っていくか。

質問) 持ち家あるいは賃貸等の「一般住宅」の他に、家屋の状況、家族の状況等の理由により、一般住宅での生活が難しい高齢者



# 小中学校給食の無償化

杉森 弘之 議員



答弁) 早期実現できるよう前向きに検討

質問) 牛久市の公立学校給食費の保護者の年間負担額は実費(11カ月分)で、小学校が4万7520円、中学校が5万1590円と、約5万円である。しかも、これはあくまで子どもが1人の場合であって、2人の場合は10万円、3人の場合は15万円となり、給食費は保護者にとって、重い負担となっている。日本では、子どもの7人に1人が貧困状態にあり、一刻も早い無償化が必要ではないか。

質問) 牛久市の公立学校給食費の保護者の年間負担額は実費(11カ月分)で、小学校が4万7520円、中学校が5万1590円と、約5万円である。しかも、これはあくまで子どもが1人の場合であって、2人の場合は10万円、3人の場合は15万円となり、給食費は保護者にとって、重い負担となっている。日本では、子どもの7人に1人が貧困状態にあり、一刻も早い無償化が必要ではないか。

質問) 牛久市は職員数が慢性的に不足しているため、長時間労働が続いているが、法定上限の月45時間以上と、過労死ラインの月80時間以上の職員数は。

質問) 牛久市は職員数が慢性的に不足しているため、長時間労働が続いているが、法定上限の月45時間以上と、過労死ラインの月80時間以上の職員数は。



「牛久の日」給食、牛久市の給食は安心でおいしい自校方式です。牛久市HPより

## 高齢者の所得と住まい

質問) 持ち家あるいは賃貸等の「一般住宅」の他に、家屋の状況、家族の状況等の理由により、一般住宅での生活が難しい高齢者

質問) 会計年度任用職員にも勤

質問) 会計年度任用職員にも勤

## 長時間労働と非常勤職員

答弁) 本年4月1日現在で96人

質問) 牛久市は職員数が慢性的に不足しているため、長時間労働が続いているが、法定上限の月45時間以上と、過労死ラインの月80時間以上の職員数は。

答弁 (総務部長) 本年度で

来年度からの支給を検討している。

市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

# 牛久シャトーの課題解決策は

黒木 のぶ子 議員



答弁) 牛久市の発展を担う重要拠点として整備する

**質問** 市民の大切な牛久シャトーは重要文化財として、また日本遺産として十分に観光振興策に活用されていない。うまく運営すれば、地域の賑わいや交流促進、活性化が図られるが、今後の運営体制の考え方は。

**答弁** (経営企画部長) 市のシボルの牛久シャトーを「市外からの人呼び込む拠点」「公園のように牛久市民が憩える拠点」「牛久市を全国に発信する広告塔」として活用し、市の魅力を全国に発信していく。

合に無保険者となるが、数は把握していない。短期保険証者数は国保で令和3年度503世帯、4年度410世帯、後期高齢者医療保険で令和3年度95件、4年度64件である。

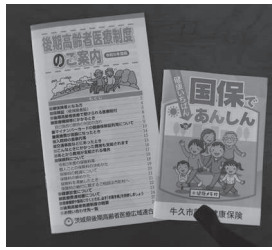
**国民健康保険と後期高齢者医療保険**

**質問** 65歳以上の国保税と後期高齢者医療保険税が高いことから滞納となり、無保険者になった人数と短期保険証者数は、また保険税の負担割合はどうか。

国保税の算定は世帯の所得に応じた所得割と世帯の人数での均等割となっている。具体的な例として、現役世代で夫の給与収入500万円、妻が115万円、子供が2人の4人世帯の場合、年税額は40万9千円で負担割合は6.65%、年金受給世帯では年金収入160万円の夫と110万円の妻の2人の場合、年税額は2万2900円で負担割合は0.85%である。軽減措置により所得が低い方への経済的負担に配慮されている。



**答弁** (保健福祉部次長) 社会保険の資格喪失をしたのち国保への加入手続きをしない場合



# 带状疱疹予防ワクチン助成の考え

伊藤 知子 議員



答弁) 定期接種の実施体制を整えたのち、検討する。

**質問** ワクチン助成について、市医師会と、どのような相談をされたのか等、本市においての進捗を伺う。

**答弁** (保健福祉部長) 新型コロナへの対応で、医療機関の負担を考慮せざるを得ず、医師会との調整には進展がない。調査研究としては、厚生科学審議会の動向確認と、全国における带状疱疹罹患率の推移調査、助成を開始した県内4市町村と実施予定の2市町への聞き取り調査を行った。

**質問** 啓発についての考えを伺う。

**答弁** 市では現在、他市町村等を参考に带状疱疹に関するホームページを作成中であり、11月掲載を目指している。

**質問** 半額助成を導入すべきと考えるが、見解を伺う。

**答弁** 带状疱疹ワクチンについては、定期接種の実施体制を整えたのち、速やかに助成開始ができるよう対象者や助成額を引き続き検討していく。



## 自転車ヘルメット着用努力義務化への取り組み

**質問** ヘルメット着用の習慣化に向けて伺う。

**答弁** (市長) 啓発活動としては、市ホームページと広報うしくへ記事を掲載した。牛久警察署や交通安全団体と協力して、ヘルメット着用を呼びかけるキャンペーンを実施、ヘルメット着用の必要性を伝えていく。

**質問** ヘルメット購入費助成制度導入への見解を伺う。

**答弁** (市民部次長) 県内で購入補助を実施している自治体もあることから、各自治体のヘルメット普及状況などを調査しながら、検討していく。

# 子どもの医療費無償化の考え

藤田 尚美 議員



答弁) 実施時期は未定だが、早期実現に向け取り組む。

**質問** 子どもの医療費助成制度は、健康保険証を使って病院や調剤薬局などを受診した際に窓口で支払う自己負担を助成する制度である。医療機関ごとに月2回まで12000円が必要であるが子育て家族からこの医療費が家計を圧迫しているとの切実な声が届いている。子どもの医療費助成制度の見直しを考えるべきだが所見を伺う。

**答弁 (市長)** 自己負担金全てを市の公費負担とすることで子どもの医療費ゼロとすることは、私の公約のひとつだが、完全無償化を実施した場合、直近の試算では扶助費だけで約6600万円増となる。

また、予算以外にもシステム改修新たに発生する事務に対応する人員確保等、解決しなければならぬ課題が複数あり、具体的な課題解決の検討を行っている。

## 視覚障がい者のための音声コードの利用促進を

**質問** 何らかの事情で文字が見えない、見えにくい、読みにくい方々のためにどのような支援をされているのか伺う。

**答弁 (保健福祉部長)** 支援として、点字広報や声の広報の配布を行っている。他には外出時の同行援護サービスがある。

**質問** スマートフォンより読み取りができるユニボイスの普及の考えを伺う。



音声コード Uni-Voice (ユニボイス) 二次元コードにスマホをかざすだけで、印刷物の内容を読み上げてくれるアプリ

# 大規模公園を整備してはどうか

水梨 伸晃 議員



答弁) 既存施設の修繕や改修等を優先して実施する

**質問** 子どもを遊ばせるため近隣市町村の公園まで連れていく話をよく耳にし、子育て世代の方々から大規模な公園整備の要望が多数ある。

近年、障がい等の有無に関わらず楽しむことのできるインクルーシブパークが日本でも広まりつつある。インクルーシブパークは車いすを使用する人や移動に制約がある人々に対してバリアフリーなアクセスを提供するとともに、身体的な運動を楽しむエリア、感覚刺激を提供するエリア、知的な挑戦を促すエリアなどの多様な遊び場、バリエーション豊富な遊具が設けられている。異なる能力や背景を持つ人々が集まりコミュニケーション

シヨンを取り合い社会的な結束を促進し、包括的な社会を推進する効果があるとされている。

こうした公園を奥野地区に設ければ耕作放棄地の解消にもつながり有用と考えるが、インクルーシブパーク整備についての見解を伺う。

**答弁 (建設部次長)** インクルーシブな公園は、公園のあり方としてとても大切な考え方のひとつであるが、市内の大半の公園が整備されているため、30年以上経過しているため、まずは既存施設の修繕や改修等を優先して実施していく。

## 市長の退職金は

**質問** 市長の退職金をゼロにする考えは。

**答弁 (市長公室長)** 退職金の廃止や減額により、新たな財源を生み出すのではなく、事業の見直しによる財源により、目の前にある課題を克服したまちづくりを進めることが最優先と考えている。



市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

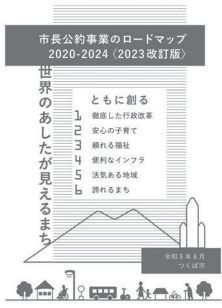


伊藤 裕一 議員

## 市長マニフェストを作成しては



答弁) 作成予定はないが、各計画に公約を反映



つくば市「市長公約事業のロードマップ」

**質問** 総合計画等の諸計画に市長の公約を反映し、伊丹市やつくば市で事例がある。行政としての市長マニフェストを作成、達成状況を検証してはかがか。

**答弁 (市長)** 総合計画改定の協議を進め、掲げた政策を反映する。市長マニフェストについては作成を予定していないが公約を各計画に反映していく。

**質問** 政策を早期実現するために予算の執行停止や補正予算提出の考えはあるか。

**答弁 (経営企画部次長)** 必要のない予算計上は行っていないので、予算執行停止は考えていない。必要が生じる際には当初予算、補正予算編成で対応する。

## 牛久シャトーの

### 施設貸出

**質問** 牛久シャトーを選挙事務所として貸し出した際の手続きや市の関与は。

**答弁 (経営企画部次長)** 民間企業と当該個人の商取引と承知している。牛久シャトー(株)から転賃申し入れがあり、違法性がないことや過去にも政治団体による利用がなされてきたことから「本転賃を否定するものではない」と回答している。

**質問** 牛久シャトーの施設貸し出し基準はあるのか。

**答弁** 暴力団及び公序良俗に反する団体等を除いては、事業者を制限する規定はない。

**質問** 今後、様々な政党、政治団体から利用希望が出ることも考えられるが、公平に貸し出しを認めるのか。

**答弁** 牛久市としては、賃貸借契約や関係法令に違反しなければ、特段否定するものではない。

## 環境・子育て支援等、市の今後は



答弁) 予算と財政で判断、市民の声を聴き政策を進めていく



大森 和夫 議員

**質問** 職員の定数不足職員定数などについては。

**答弁 (総務部次長)** 77名不足。十分な人員と優秀な人材の確保に努める。

**質問** 雨水タンクの設置助成

**答弁 (環境経済部長)** 補助の必要性を検討していく。

**質問** 学校給食費の無償化の実現は。

**答弁 (教育委員会次長)** 財源の確保を検討する。

**質問** 18歳未満の医療費無償化は。

**答弁 (保健福祉部次長)** 早期実現に向けとりにくんでいく。

**質問** 牛久消防署の建て替え

**答弁 (市民部長)** 消防本部と時期や建設予定地の選定協議等継続していく。

**質問** 税収増・人口増の政策・方針の考えは。

例として農家直売所、牛久沼のレジャー化・道の駅を作り休憩・情報発信・地域の連携機能を生かす取り組み。また、転入者や企業を呼び込み、税収の増加を図る。観光客を呼び込み購入してもらうことで、飲食店・牛久シャトーの売り上げを伸ばすと、結果税収が増える。

財政調整基金35億円、予備費が5000万円から先行投資をして、税収増加を図ることが求められるが。

**答弁 (経営企画部長)** 適正政策を立案し行政運営を遂行する。

**答弁 (市長)** 市民の声を聴き政策を進めていく。



# 加齢性難聴者に補聴器購入の助成を

遠藤 憲子 議員



答弁) 難聴の確認方法や補聴器の有効使用の方法など調査研究していく

質問 補聴器購入助成に対する市の考えは。

答弁 (保健福祉部次長) 難聴者への支援には補聴器購入だけでなく様々な検討が必要となる。医療の見落としがないように加齢性難聴の確認方法、聴力の基準、聴覚障がいとの区別などである。

質問 介護認定の申請時に聴力調査の項目はあるか。

答弁 ケアマネジャーが対面で聞こえの聞き取りをする項目はある。

## 住井すゑ文学館の整備拡充

### 整備拡充

質問 整備拡充は。

答弁 (教育委員会次長) 令和4年度から6年度まで東海大学文学部との共同調査や外部の研究費を活用した研究が可能となった。しかし、多数の資料の確認や全容把握が課題である。文学館の限られた展示スペースでは、資料も制約を受けるために特別展示も限定的となり、既存施設などの

活用も検討していく。

## 教職員の時間外勤務の実態は

質問 公立小中・義務教育学

校の時間外勤務の実態と改善は。

答弁 (教育委員会次長) タイムカードにより勤務時間の報告を受けており、教職員1人当たりの時間外勤務は、令和元年度が46時間59分など45時間を超える時間外勤務が令和3年度まであったが、令和4年度は38時間13分と減少傾向である。削減に向けた取り組みでは、登下校の見守り、部活動の実施日を減らす、部活動指導員の活用や複数顧問制にするなどである。



住井すゑ文学館

# 決算の検証と今後の財政運営は

小松崎 伸 議員



答弁) 持続可能な財政基盤を構築していく

質問 市町村の規模に応じ交付される税である地方交付税の割合が拡大しているが、市の所見を伺う。

答弁 (経営企画部次長) 財政力指数が引き下がったことや臨時経済対策費が創設され、追加交付されたこと等が増加の要因である。

質問 歳出では扶助費が前年比12億3600万円減少となっているが。

答弁 子育て世帯への臨時特別給付金、生活扶助費や児童手当の減額による。

質問 公債費が前年比4億6200万円増加した要因は。

答弁 繰上償還を実施したことに加え、借入債等の元金償還が開始されたことによる。

質問 単年度収支で、3億9200万円の赤字となったが、市の所見を伺う。

答弁 令和3年度の実質収支額が21億5700万円と過去最大であったことや、財政調整基金を取り崩すことなく執行できたことによる。

質問 人口減少の中で、今後の一般財源確保は。

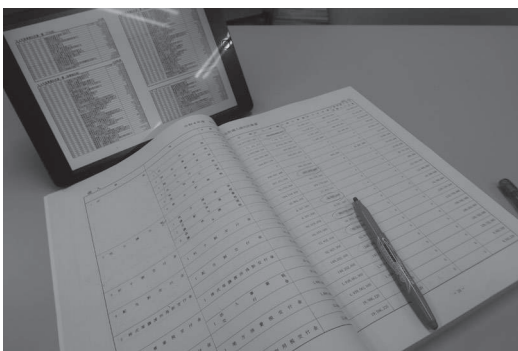
答弁 国、県補助金の活用はもとより、ふるさと寄附により応援していただきたい。

質問 現在の物価高への財政的対応は。

答弁 福祉、医療施設、認定農業者、運送事業者に対する支援を引き続き実施する。

質問 今後、目指すべき地方財政のあり方は。

答弁 (市長) 自主財源の確保が重要であり、事業の取捨選択を実施しながら、持続可能な財政基盤の構築に向け進めていく。



市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。



須藤 京子 議員

## テナント誘致に優遇措置の創設を



答弁) 誘致を加速させるため市独自の制度を行う

**質問** エスカード牛久ビルを管理する第三セクターの牛久都市開発株式会社が果たす社会的意義は。

**答弁** (経営企画部長) 設立から約40年が経過したが、牛久駅前中心市街地の安全で快適な都市環境の維持と活性化が第一義である。

**質問** 市が同社へ行った4億円貸付の償還状況は。

**答弁** 計画どおりに償還されている。

**質問** 決算では不動産賃貸業収入が減収しているが。

**答弁** 4年度には1階の店舗が撤退、減収となった。

**質問** 同社は非物販店も含めた幅広いリーシング活動を進めるとしているが、誘致状況は。

**答弁** テナント誘致は民間のリーシング企業に委託を行い、物販店、飲食事業者、屋内遊技場や事務所利用など業種・業態等に制限を設けず誘致活動をを行っている。協議を重ねた事業者がいたが、様々な理由で出店には至らなかった。

**質問** 様々な理由とは何か。出店しやすいよう優遇装置を講ずる必要があると考えるが。

**答弁** (市長) エスカード牛久ビルへの誘致には、県議会議員時代に県に対し働きかけを行ったが、成立には至らなかった。最終候補地の他市には補助制度があった。企業誘致は競争であり、牛久市はスターラインにさえ立てていなかった。今後誘致を加速させていくためには、他市町村の動向、内容や条件等を整理し、早急に市独自の制度設計を行うよう指示した。他市町村と比較しても負けない制度を構築していく。

由で出店には至らなかった。



空き床解消できないエスカード牛久ビルの3階

(掲載以外の質問事項)  
○令和4年度決算 他

## 被災農業者への窓口対応はどうか



答弁) 生産者が窓口を認識できるよう努めていく



高嶋 基樹 議員

**質問** 豪雨災害の対応と農作物の状況確認は。

**答弁** (環境経済部長) 自然災害発生時には県の農業機関と連携し、市内全域の被害を現地調査している。その他、市独自ではJA水郷つくばや市内認定農業者への聞き取り、若手農業者からはSNSを活用し報告を受ける。被災後も農業政策課全員で2週間に渡り巡回を実施し、生育状況や回復状況の把握に努めている。

**質問** 収穫までに時間を要する作物の確認方法は。

**答弁** (環境経済部長) 種類によつては長期的な見守り、場合によっては技術的な対応が必要な作物があり、定期巡回の他、稲敷地域農業改良普及センターとも連携し、助言等を行っている。

**質問** 被災農業者からの窓口対応はどうか。

**答弁** (市長) 直接農業政策課の窓口でも受付けているが、実際に窓口での相談は少なく、市内全農業者の状況把握には

至っていない。また、私自身も6月の災害後すぐに現地調査と直接の聞き取りを行ったが、生産者や地主の方は窓口を認識しておらず、周知には努めていきたいと考える。今後、気軽に相談いただける窓口業務を心掛け、来年1月1日に発行される「農業委員会だより」を活用し、相談窓口の特集を市内全農業者に周知し、情報収集と情報発信に努めて行く。

至っていない。また、私自身も6月の災害後すぐに現地調査と直接の聞き取りを行ったが、生産者や地主の方は窓口を認識しておらず、周知には努めていきたいと考える。今後、気軽に相談いただける窓口業務を心掛け、来年1月1日に発行される「農業委員会だより」を活用し、相談窓口の特集を市内全農業者に周知し、情報収集と情報発信に努めて行く。



(災害前)



(災害後)

看板による注意喚起

# 増える自然災害への防災姿勢は

磯山 和男 議員



答弁) 行政区長で構成する防災会の活動を強化する

質問 増える災害に対し、牛久市防災会の担う役割は。

答弁 (市民部長) 「自分たちのまちは自分たちで守る」ということから自主防災組織の役割は大きい。自主防災組織や行政区の連合組織である牛久市防災会の活動を強化、活発にしていく。

質問 牛久市防災会の内部組織としての牛久市防災支部会の役割は。

答弁 自主防災組織の活動発表会に参加してもらうなど、防災会と連動した活動で地域の防災リーダーとなってもらう。また、部会からの提案も受け入れて勉強会などの企画も考える。

質問 災害時に援護を必要とする者の情報の把握は。

答弁 要援護者台帳とは別に作成した避難行動要支援者名簿があり、市役所窓口で渡すことが基本だが、災害時を考慮すると事前提供ができるよう取り組む。

## 奥野地区の現状と今後

質問 奥野地区は牛久市全体の約半分程の面積を占めているが、人口は5000人にも満たず、病院や商業施設もなく、更に交通の便も悪く、多くの住民が奥野での今後の生活に不安を感じている。奥野地区に対する市の考えは。

答弁 (市長) 日常生活に地域格差が生まれることは望ましくないと考えている。今後も奥野地区の自然環境を保全すると同時に、地域の皆様の意見も伺い、地域の特性を活かした施策が展開できるよう検討する。



初めて牛久駅で行われた帰宅困難者避難訓練の様子

# 財政調整基金が見込みより増加した理由は

出澤 大 議員



答弁) 不用額等の基金への繰り戻し、市税や地方交付税などの増額による

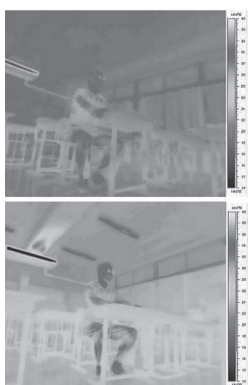
質問 財政調整基金(市の貯金)は令和4年度末見込み金額と決算金額を比べると13億円ほど多く積み増しているがその背景を伺う。

答弁 (経営企画部長) 21億5735万3千円の実質収支額(黒字)が生じたことや予算の不用額(使用する必要がなくなった額)が生じたこと、また市税、地方交付税が増えたことにより13億円の差が生じた。

## ふるさと納税の活用と改善

質問 市長の基本政策でふるさと納税の活用もあげているが、ふるさと納税とは寄付した人が翌年度に居住地に納める住民税が軽減される制度である。自治体にとってはその分は減収となる。牛久市の現状、本来は本市に入るべき税収が

どうなっているか。



さいたま市立芝川小学校で行われた実証実験。上下ともエアコン稼働時。上は断熱対策前で、下は対策後。エアコンの送風口のあたりで20度以下。教室全体で、色の薄い部分は22度から30度以下、色の濃い部分は30度から38度くらいまでを表示。

質問 写真のとおりエアコン稼働時でも、高温となっている。なぜこれほどにも暑いのか伺う。

答弁 (教育部長) 主に異常気象と学校設備の無断熱が要因である。牛久市学校施設長寿命化計画を策定し、建物の改修工事を実施していく。その中に断熱対策についても含まれている。

## 学校教室の高温対策は

どれほど減少しているか。

答弁 (市長公室長) 令和3年度まではいわゆる赤字の状態が続いていたが、令和4年度は初めて黒字に転じた。今年度は更なるポータルサイトへの拡充と同時に、効果的にPR広告を活用することで、当市の特産品を全国に広め、寄附の増加を目指していく。

市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

総務企画常任委員会

中型の公用バス購入費用  
約1640万円



おくの義務教育学校に通う子どもたちが使うバス

**問** 買い替えと聞いているが、現在どのような用途に使っているバスになるのか。

**答** おくの義務教育学校へのスクールバス5台のうちの1台となる。使用期間が30年を過ぎたものである。同様のバスが他にも2台あるので、今後公用バスのあり方として買い替え、リースなど事業のあり方を検討する。

**問** バスを利用する対象や利用できる

範囲などの決まりは。

**答** 牛久市バス運行規定で定められており校外学習や部活動などでも使用できる。日帰り、全走行距離400km以内などと決まっている。

**問** 購入するバスの環境への配慮と安全装置は。

**答** アイドリングストップ機能と平成28年排出ガス規制に適合。安全装置については衝突回避支援システム、バックアイテレビ等が装備される。置き去り防止装置も現在導入されているものと同様のものが装備される。

教育文化常任委員会

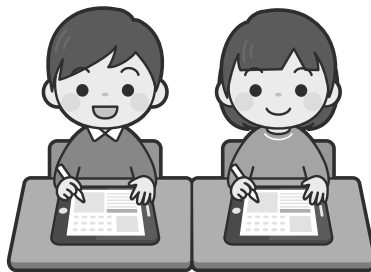
GIGAスクールで導入したタブレット端末で使用しているソフトウェアライセンスを約6356万円で購入

**問** 購入するソフトウェアと期間は？

**答** 「授業支援」「フィルタリング及びウイルス対策」「学習支援」の各ソフト。児童生徒及び教職員分で各7335ライセンス、一年間有効。

**問** 同事業関連予算で、今後の予定は？

**答** タブレットの物損保証経費は引き続き計上。また5年間の債務負担行為を設定しているタブレットの費用も毎年定額を要するが、この期間中で他に大きな予算計上はない。



令和2年11月に1人1台のタブレット端末を整備。理科の観察時などの撮影や英語学習、検索サイトの使用、パワーポイントを作成してプレゼンを行うなど、学習の中で効果的に活用している。

教職員定数改善及び義務教育費  
国庫負担制度堅持に係る意見書

**（意見）** 中学校での35人学級を早急に実施、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進、義務教育費国庫負担制度を堅持することを国会、政府に要望する。

保健福祉常任委員会

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、牛久市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正

**問** 牛久市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の内容、及びこれに該当する市内事業所数は。

**答** 施設の運営等に係る費用の補助を受けるために市町村から確認が行われた保育園、認定こども園、幼稚園であり、市内には公立保育園が3園、民間保育園が11園、認定こども園が3園、公立幼稚園が2園ある。特定地域型保育事業については、小規模保育事業、家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業などがあり、市内には小規模保育事業が3園ある。





# 環境建設常任委員会

## 牛久市土採取事業規制条例の一部を改正

(内容) 宅地造成等規制法が、宅地造成及び特定盛土等規制法に名称変更になったことにより、牛久市の条例の本文中において引用条項及び文言の変更を行うもの。

## 下水サーベイランス事業の実施を求める意見書

(内容) 内閣感染症危機管理統括庁が司令塔となって、厚生労働省、国土交通省、各地方公共団体が連携して下水サーベイランス事業を全国展開することを国に対して求めるもの。

※下水サーベイランス事業とは

下水中には人由来の新型コロナウイルスが存在することから、下水サーベイランス(下水中のウイルスを検査・監視すること)により、地域の新型コロナウイルス感染症のまん延状況の把握や、特定の施設における感染有無の探知等を行い、効果的・効率的な対策につなげられる可能性があり、国内外で研究・取組が行われている。(内閣感染症危機管理統括庁ホームページより)

# 予算常任委員会

## 住宅侵入、窃盗等の被害防止のため防犯カメラ5基設置

(問) 備品購入費537万4千円で防犯カメラを設置する経緯は。

(答) 茨城県のモデル地区として、県警と行政区と連携した実証実験を実施するもの。カメラの購入費の2分の1は県警からの助成を受けている。従来は大通りに設置してきたが、今回は住宅侵入、窃盗防止の観点で旧国道6号沿いに設置する。

## 防犯カメラの点検、管理はどこの担当なのか。

(答) 修理等の対応を含む電気代などは、牛久市が負担し管理する。



写真はひたち野東地区の大通りの交差点に設置されている防犯カメラ。今回新たに設置されるものも同機種のカメラに予定。

## 市に寄附された旧飯島家住宅の調査始まる。

## 住宅の管理、調査内容と公開予定は。

(問) 住宅の管理、調査内容と公開予定は。

(答) 管理についてはシルバー人材センターへ委託し、清掃や建物の管理を実施。有識者による基礎調査を行い、母屋については国の登録有形文化財の登録を目指し、国の補助金等を活用して公開に向け整備していく。



門(東より) 旧飯島家住宅。牛久町飯島家は江戸時代に長く牛久宿(現在の牛久町)の間屋となった家で、宿屋の長として中心的な役割を果たした家。現在の飯島家の門前には「明治天皇牛久行在所」の碑が存在している。



主屋(東より) 旧飯島家住宅。牛久町飯島家は江戸時代に長く牛久宿(現在の牛久町)の間屋となった家で、宿屋の長として中心的な役割を果たした家。現在の飯島家の門前には「明治天皇牛久行在所」の碑が存在している。

## 「稲敷・龍ヶ崎地方3組合統合・複合化に関する特別委員会」での調査の結果報告が行われました。

特別委員会では「龍ヶ崎地方塵芥処理組合」「龍ヶ崎地方衛生組合」「稲敷地方広域市町村圏事務組合」の3組合の今後のあり方について牛久市議会としての考え方を明らかにするため調査研究を行ってきた。令和5年10月30日、その検討結果及び提言について報告があった。

## 調査検討の経過

3組合のうち、消防、水防等を所掌する「稲敷地方広域市町村圏事務組合」は、他の2組合に比して統合に向けてはクリアすべき点が多々あり、し尿処理やごみ処理を所掌する2組合とは明らかに性格が異なる。

また、現在の牛久クリーンセンターの建設当時に奥原地区のクリーンセンター建設委員会と市とで締結された清掃工場建設に関する協定書では、広域化しないことが条件として定められている。よって今後のごみ処理広域化の議論にあたっては十分に留意すべきものとの結論に至った。

## 提言

**稲敷・龍ヶ崎地方3組合統合・複合化協議会**が、ごみ処理の広域化に特化した協議を行う**広域行政検討協議会**へと変遷したのを受けて、本委員会は、「龍ヶ崎地方衛生組合」「龍ヶ崎地方塵芥処理組合」の2組合による統合・複合化が望ましく、「稲敷地方広域市町村圏事務組合」は対象から除くべきであると提言する。

なお、**広域行政検討協議会**における今後の議論の推移を見守る必要がある。

# 議案の審議結果

凡例：○…賛成、×…反対  
 諸橋太一郎議長(自民党うしく21)は採決には加わっておりません

## 賛成全員で可決または認定等された議案等

議案番号	議案等名
【第3回臨時会】	
52号	令和5年度牛久市一般会計補正予算(第3号)
【第3回定例会】	
56号	牛久市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
57号	牛久市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
58号	牛久市土採取事業規制条例の一部を改正する条例について
59号	令和5年度牛久市一般会計補正予算(第4号)
60号	令和5年度牛久市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
61号	令和5年度牛久市青果市場事業特別会計補正予算(第1号)
62号	令和5年度牛久市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
63号	令和5年度牛久市下水道事業会計補正予算(第1号)
64号	物品購入契約の締結について
65号	物品購入契約の締結について
66号	令和5年度牛久市一般会計補正予算(第5号)
諮問第22号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
諮問第23号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
意見書案第3号	下水サーベイランス事業の実施を求める意見書の提出について
意見書案第4号	ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)に対する適正な診療上の評価等を求める意見書の提出について
決議案第3号	使途不明金の徹底的な解明を求める決議について

## 賛否が分かれた議案等

議案番号	議案等名	市民クラブ	自民党うしく21	公明党	日本共産党	日本維新の会	うしく未来プロジェクト	無党派(小松崎)	無党派(山本)	無党派(池辺)	無党派(甲斐)	無党派(磯山)	議決結果
【第3回臨時会】													
34号	牛久市下水道条例の一部を改正する条例について		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
53号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	可決
54号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	可決
55号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	可決
【第3回定例会】													
認定第1号	令和4年度牛久市各会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
意見書案第5号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

## 党派構成

市民クラブ	自民党うしく21	公明党	日本共産党	日本維新の会	うしく未来プロジェクト	無党派
黒木のぶ子 須藤京子 杉森弘之 出澤大 加藤政之	諸橋太一郎 石原幸雄 高嶋樹樹	藤田尚美 鈴木勝利 伊藤知子	遠藤憲子 大森和夫	伊藤裕一 水梨伸晃	塚原正彦 柳井哲也	小松崎伸山 本仲子 池辺己実夫 甲斐徳之助 磯山和男

※牛久市議会では党派制を採用しているため、党派名で記載しています。

10%  
↓  
20%  
ハートフルクーポンの  
プレミアム分の増額

### 一般会計補正予算

12月発売のハートフルクーポン券3億円分について、プレミアム分を10%から20%にすることに伴う補助金の増額  
 補正額3100万円(補正後の予算額7810万円)

### 質疑より

#### 問 販売方法の変更点は。

答 市民限定で一世帯あたり10万円を上限とし、ハガキでの申し込みとなる。申し込みが3億円を越えた場合は抽選となる。

#### 問 多くの市民が買えるように限度額の引き下げを検討しては。

答 今回の販売データを参考に、次回以降の販売について方法や限度額などを見直していく予定。

## 令和5年第3回臨時会

8/23

### (主な内容)

#### 下水道条例の一部を改正

継続審査となっていた下水道使用料金の値上げの条例改正案可決

#### 令和5年度一般会計補正予算

- 総合窓口受付案内業務委託料の計上
- 243万3千円
- 産後ケアの対象者等の拡大に伴う委託料の増額
- 297万6千円

## 一部事務組合・ 広域連合議会報告

一部事務組合や広域連合にはそれぞれ議会が設置されており、牛久市議会議員もそれらの団体の議員として選出されています。

左記の議会の詳細をホームページに掲載しています。

- 稲敷地方広域市町村圏事務組合
- 県南水道企業団
- 龍ヶ崎市地方衛生組合
- 牛久市・阿見町斎場事務組合
- 茨城県後期高齢者医療広域連合

二次元コードを読み取るか、または牛久市議会ホームページからご覧下さい。



### おくの義務教育学校施設一体型建設工事(工区1)等工事請負契約の締結

校舎及び給食室等の増築、既存校舎の長寿命化改修について、次のとおり工事請負契約を締結するもの。

- 【建築工事】オカベ・松浦特定建設工事共同企業体 (17億9630万円)
- 【電気設備工事】飯島・木村特定建設工事共同企業体 (3億6300万円)
- 【機械設備工事】伊奈・塚原特定建設工事共同企業体 (3億8280万円)

# おしえて！議会定例会って？ どういう流れになっているの？



市議会には、年4回開かれ定例会（3月、6月、9月、12月）と、必要に応じて開かれる臨時会があります。ここでは、定例会の流れについて説明します。

## 開 会

議案について提案者（市長）の説明があります。  
議案には、条例、予算、契約の締結、財産の取得または処分、人事案件、意見書、決議などがあります。  
議案は委員会付託により本会議から常任委員会へ移ります。



議長が全体の進行をします

# 本 会 議

### 一般質問

議員は市の仕事全般に関する様々なテーマについて質問を行い、市の見解などを求めることができます。  
議員の質問時間と執行部の答弁時間は、それぞれ**45分以内**となっています。



一般質問の様子

常任委員会で議案の審査を行います。

議員は下記4つのいずれかの常任委員会に所属します。

（兼務している議員もいます。）

総務企画常任委員会

教育文化常任委員会

保健福祉常任委員会

環境建設常任委員会

提案者の説明 市執行部が議案の内容を説明します。

**質疑応答** 市執行部に対し、議案の内容について質疑を行います。

**討 論** 議案に対し賛成か反対か自分の意見を述べます。

**採 決** 委員会として議案の賛否を決定します

委員会報告書の提出により本会議に移ります。

# 常 任 委 員 会



常任委員会ではより専門的に詳細に審査を行います



常任委員会での審査の内容を報告します

## 閉 会

**委員長報告** 委員会の審査結果を委員長が報告します。

**質疑答弁** 委員長報告に対する質疑を行います。

**討 論** 議案に対し賛成か反対か自分の意見を述べます。

**採 決** 議案の賛否は出席議員の過半数で決定します。



採決はタブレット端末で行います

### 「市民文化祭」本番に向けて、がんばっています！

—外壁、屋上の改修工事を終えた中央生涯学習センターにて

令和3、4年度の2か年をかけ行われた改修工事は、総額3億7,463万円。外壁タイルが剥がれないようにアンカーボルトで固定してウレタン樹脂でコーティングし、屋上にはシームレスで水密性の高い防水層を施しました。ちょっと見ただけではわかりにくいかもしれませんが、長寿命化に向けた改修工事の第1歩です。

10月22日の市民文化祭に向けて、リハーサルを行っていた2つの合唱の団体にお話を伺ってきました。



改修後の外壁タイルについて担当課より説明を受ける決算特別委員

#### 牛久コール若葉

—市民文化祭に参加する感想をお聞かせください。

このような発表の場があることは励みになります。明日の本番は黒いロングスカートで登壇しますが、そういったことができるのもステージ発表の楽しみです。



牛久コール若葉

#### 取材を終えて

皆さんの笑顔と歌声で、とても楽しい時間を過ごすことができました。美しいハーモニー、心動かされるリズムに自然と体が動いていました。

取材では、貴重なご意見をいただくことができました。お忙しい中ご協力いただきありがとうございました！



リハーサルの様子を見学



ゴスペル同好会VOUK

#### ゴスペル同好会VOUK

—市民文化祭は皆さんにとってどんな存在ですか？

うしくっば祭りのステージと市民文化祭が私たちの目標となっています。くっば祭りで夏を感じ、文化祭で冬が来るのを感じます。

### 読みやすい議会だよりを目指して

議会だよりは、この4月にサイズ変更を行い、表紙や紙面のレイアウトなど毎回試行錯誤しながら発行しています。



表紙のアイデアがたくさんありました



真剣に課題に取り組みます

もっと皆さまに「伝わる」議会だよりを作成したいという思いから編集のための研修を受講し、文章の書き方や校正の方法の基礎から、写真やキャプションの効果的な入れ方、魅力的な表紙や読みやすいレイアウトなどについて学びました。

### 議会TOPICS

#### 広報常任委員会 議会だより研修

(株式会社社会議録センター)



研修時の集合写真（前列中は講師）

- 広報常任委員会
- 委員長 山本 伸子
  - 副委員長 水梨 伸晃
  - 委員 磯山 和男
  - 委員 大森 和夫
  - 委員 伊藤 知子
  - 委員 出澤 基樹
  - 委員 高嶋 大

「議会だより」は、私たち議員が日頃どのようなことに取り組んでいるのかを知っていただくためにも大切なものです。前号の編集後記にもありましたように、時には皆様にとって大切なお宝になる情報もあると思いますよ。(磯山)

編集後記